

令和4年度

埼玉大学大学院教育学研究科(専門職学位課程)

学 生 募 集 要 項

●一般選抜（第1期・第2期）

※第3期の募集を行う場合があります。

●現職教員等特別選抜（第1期・第2期）

●指定校推薦特別選抜（第1期・第2期）

●学部内推薦特別選抜（第1期・第2期）



Saitama University

埼玉大学

埼玉大学大学院教育学研究科
〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
TEL 048-829-7119

目次

I	埼玉大学大学院教育学研究科の入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	・・・ 1
II	学生募集日程等	
1	一般選抜	・・・ 2
2	現職教員等特別選抜	・・・ 4
3	指定校推薦特別選抜	・・・ 6
4	学部内推薦特別選抜	・・・ 7
III	学生募集内容等	
1	募集人員	・・・ 9
2	出願資格	・・・ 9
3	出願書類及び入学検定料	・・・ 10
4	出願資格(1)の⑦により出願する者の資格審査について	・・・ 12
5	受験科目等	・・・ 13
IV	検定料の免除	・・・ 16
V	大学院特例制度	・・・ 16
VI	取得できる免許状	・・・ 17
VII	障がい等のある入学志願者の事前相談について	・・・ 18
VIII	合格者の発表及び入学手続	
1	合格者の発表	・・・ 19
2	入学手続	・・・ 19
IX	入試情報の開示	・・・ 20
X	個人情報の保護について	・・・ 20
XI	その他	・・・ 20

新型コロナウイルス感染症関連等の影響により試験日程や入学選抜方法に変更が生じる可能性があります。

変更が生じた場合は埼玉大学教育学部ホームページ
(<http://www.saitama-u.ac.jp/edu/>) 及び埼玉大学大学院教育学研究科教職大学院ホームページ (<http://kyoshoku.edu.saitama-u.ac.jp/>) にてお知らせいたします。

I 埼玉大学大学院教育学研究科の入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

教育学研究科専門職学位課程では、次のような人に育つことを期待します。

教職実践専攻では、教員集団の中核として活躍する実践的探求力と課題解決力や、豊かな人間性・社会性を持つとともに、社会の変化とともに幅広く学び続ける教員となることが期待されています。

教育学研究科専門職学位課程では、次のような知識の修得、能力の獲得などを目指した教育を行います。

教職実践専攻では、高度な知識・技能に基づいて子どもたちが主体的・協働的に学ぶ授業をデザインし、実践できる力、子どもと彼らを取り巻く状況を深く理解した上で適切な学級経営を行える力、的確な課題把握に基づいて問題解決を図り、学校運営の中核的スクールリーダーとなりうるマネジメント力、実践と理論の往還に基づく深い省察を行い、実践研究につなげていく力などを育成します。

教育学研究科専門職学位課程では、次のような人が入学することを望んでいます。

教職実践専攻では、現代の教育課題を解決しようとする熱意を持ち、理論と実践を融合したカリキュラムによる学びによって研究力と実践力を培い、将来、教員集団の中核として活躍したいと考えている人が入学することを望んでいます。

教育学研究科専門職学位課程では、上記の目標に適性を持つ人を受け入れるために、次のような入学試験を実施します。

教職実践専攻の一般選抜及び指定校推薦特別選抜では、筆記試験、実技試験、口述試験、研究計画書等の総合審査によって判定します。同専攻の現職教員等特別選抜及び学部内推薦特別選抜では、口述試験、研究計画書、教育実践・研究業績書等の総合審査によって判定します。

Ⅱ 学生募集日程等

1 一般選抜

一般選抜は、9頁の「2 出願資格」における「(1) 各選抜区分共通の出願資格」のうちのいずれかに該当する者を対象とします。

(1) 入学願書等出願期間

【第1期】	令和3年 7月23日(金)～ 7月29日(木)
【第2期】	令和3年10月15日(金)～10月21日(木)

出願は郵送のみとし(期間内必着)、窓口では一切受け付けません。郵送に際しては必ず簡易書留郵便とし、出願書類提出用封筒[市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)]に書類一式を封入したうえで、封筒の表に「教育学研究科入学志願書類在中」と朱書してください。

(2) 試験日時等

①試験日

【第1期】	令和3年 9月 4日(土)
【第2期】	令和3年12月 4日(土)

②試験場所

埼玉大学教育学部(埼玉県さいたま市桜区下大久保255)

③試験時間割

実施単位			試験科目	
プログラム	サブプログラム	教科等	筆記試験等 (教職に関する科目、専門科目)	口述試験
総合教育高度化 プログラム	学校構想サブプログラム		10:00～12:00	13:00～
	特別支援教育サブプログラム			
	学校保健サブプログラム			
	子ども共育サブプログラム	教育学 幼児教育		
教科教育高度化 プログラム	言語文化系教育サブプログラム	国語 英語	10:00～12:00	13:00～
	社会系教育サブプログラム			
	自然科学系教育サブプログラム	算数・数学 理科		
	芸術系教育サブプログラム	音楽 図画工作・美術	10:00～12:30	13:30～
	身体文化系教育サブプログラム		10:00～12:00	13:00～
	生活創造系教育サブプログラム	技術 家庭		

※筆記試験等の終了時刻及び口述試験の開始時刻は変更となることがあります。試験時間の詳細は、試験前日に掲示によりお知らせします。

(3) 選抜方法

筆記試験、実技試験及び口述試験、研究計画書及び出身大学等の学長又は学部長が作成した成績証明書を基に総合的に判断します。詳細は13頁以降の「5 受験科目等」を確認してください。

(4) 配点

一 般 選 抜	筆記試験等	口述試験	合 計
	200	100	300

(5) 合格発表

【第1期】	令和3年 9月24日（金）14：00
【第2期】	令和3年12月14日（火）14：00

(6) 入学手続

【第1期】	令和3年11月16日（火）
【第2期】	令和4年 2月22日（火）

2 現職教員等特別選抜

現職教員等特別選抜は、9頁の「2 出願資格」における「(2) 現職教員等特別選抜」に該当し、かつ「(1) 各選抜区分共通の出願資格」のうちのいずれかに該当する者を対象とします。

(1) 入学願書等出願期間

【第1期】	令和3年 7月23日(金)～ 7月29日(木)
【第2期】	令和3年10月15日(金)～10月21日(木)

出願は郵送のみとし(期間内必着)、窓口では一切受け付けません。郵送に際しては必ず簡易書留郵便とし、出願書類提出用封筒[市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)]に書類一式を封入したうえで、封筒の表に「教育学研究科入学志願書類在中」と朱書してください。

(2) 試験日時等

① 試験 日

【第1期】	令和3年 9月 4日(土)
【第2期】	令和3年12月 4日(土)

② 試験 場 所

埼玉大学教育学部(埼玉県さいたま市桜区下大久保 255)

③ 試験時間割

実施単位			試験科目
プログラム	サブプログラム	教科等	口述試験
総合教育高度化プログラム	学校構想サブプログラム		13:00～
	特別支援教育サブプログラム		
	学校保健サブプログラム		
	子ども共育サブプログラム	教育学 幼児教育	
教科教育高度化プログラム	言語文化系教育サブプログラム	国語 英語	
	社会系教育サブプログラム		
	自然科学系教育サブプログラム	算数・数学 理科	
	芸術系教育サブプログラム	音楽 図画工作・美術	13:30～
	身体文化系教育サブプログラム		13:00～
	生活創造系教育サブプログラム	技術 家庭	

※口述試験の開始時刻は変更となることがあります。試験時間の詳細は、試験前日に掲示によりお知らせします。

(3) 選抜方法

口述試験、研究計画書、教育実践・研究業績書及び出身大学等の学長又は学部長が作成した成績証明書を基に総合的に判断します。詳細は13頁以降の「5 受験科目等」を確認してください。

(4) 配点

現職教員等特別選抜	口述試験	合 計
	200	200

(5) 合格発表

【第1期】	令和3年 9月24日（金）14：00
【第2期】	令和3年12月14日（火）14：00

(6) 入学手続

【第1期】	令和3年11月16日（火）
【第2期】	令和4年 2月22日（火）

3 指定校推薦特別選抜

指定校推薦特別選抜は、埼玉大学教育学部からの指定を受けている大学からの推薦者を対象とします。指定校の詳細については、埼玉大学教育学部係(048-829-7119)までお問い合わせください。

(1) 入学願書等出願期間

【第1期】	令和3年 7月23日(金)～ 7月29日(木)
【第2期】	令和3年10月15日(金)～10月21日(木)

出願は郵送のみとし(期間内必着)、窓口では一切受け付けません。郵送に際しては必ず簡易書留郵便とし、出願書類提出用封筒〔市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)〕に書類一式を封入したうえで、封筒の表に「教育学研究科入学志願書類在中」と朱書してください。

(2) 試験日時等

①試験日

【第1期】	令和3年 9月 4日(土)
【第2期】	令和3年12月 4日(土)

②試験場所

埼玉大学教育学部(埼玉県さいたま市桜区下大久保255)

③試験時間割

2頁の「1 一般選抜」の試験時間割に準じます。

(3) 選抜方法

筆記試験、実技試験及び口述試験、研究計画書、出身大学等の学長又は学部長が作成した成績証明書及び推薦書を基に総合的に判断します。詳細は13頁以降の「5 受験科目等」を確認してください。

(4) 配点

指定校推薦特別選抜	筆記試験等	口述試験	合計
	200	100	300

(5) 合格発表

【第1期】	令和3年 9月24日(金) 14:00
【第2期】	令和3年12月14日(火) 14:00

(6) 入学手続

【第1期】	令和3年11月16日(火)
【第2期】	令和4年 2月22日(火)

4 学部内推薦特別選抜

学部内推薦特別選抜は、埼玉大学教育学部に在籍する4年次生を対象とします。
なお、令和4年度は下記募集単位においては学部内推薦特別選抜を実施しません。
・総合教育高度化プログラム 特別支援教育サブプログラム

(1) 推薦対象者

下記の要件を全て満たす者を推薦の対象者とします。

- ①将来、教職（保育士含む）に就く強い意志のある者
- ②教員（保育士含む）としての適正を備えている者
- ③本学教育学部において学業成績の優秀な者
- ④令和4年3月に卒業見込である者
- ⑤教育学研究科に合格した場合に入学を確約できる者

(2) 出願方法等

出願を予定している者は、出願に先立って教育学部各専修内で審査を受ける必要があります（事前審査）、事前審査で推薦が認められた者のみ受験が許可されます。出願を予定している者は、下記「出願の流れ」を参照し、受付期間内に事前審査の出願を行ってください。

《出願の流れ》

- ①出願を予定している者は、指導教員等に申し出た上で「推薦承諾書」記入を依頼します。
- ②下記の書類を一括して事前審査受付期間内（必着）に埼玉大学教育学部係宛に簡易書留郵便で郵送してください。なお、出願は郵送のみとし、窓口での提出は一切受け付けません。

(i) 事前審査受付期間

【第1期】	令和3年 6月28日（月）～ 7月 2日（金）
【第2期】	令和3年 9月17日（金）～ 9月24日（金）

(ii) 事前審査提出書類

書類等の名称	摘 要
研究計画書	本研究科所定の用紙 パソコン等で作成しプリントアウトした文書を貼りつけても構いません。ただし、「研究計画概要」の枠内に収まるよう留意してください。裏面を使用することはできません。
成績証明書	埼玉大学教育学部長が作成したもの（厳封不要）。
推薦承諾書	本研究科所定の用紙

- ③審査の結果、推薦が認められた者は、入学願書等出願期間内に必要書類を郵送し出願します。事前審査受付の際に提出した書類を再提出する必要はありません。
なお本事前審査は、審査の結果、推薦が認められなかった者について一般選抜への出願を制限するものではありません。

(3) 入学願書等出願期間

【第1期】	令和3年 7月23日(金)～ 7月29日(木)
【第2期】	令和3年10月15日(金)～10月21日(木)

出願は郵送のみとし(期間内必着)、窓口では一切受け付けません。郵送に際しては必ず簡易書留郵便とし、出願書類提出用封筒[市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)]に書類一式を封入したうえで、封筒の表に「教育学研究科入学志願書類在中」と朱書してください。

(4) 試験日時等

① 試験 日

【第1期】	令和3年 9月 4日(土)
【第2期】	令和3年12月 4日(土)

② 試験 場 所

埼玉大学教育学部(埼玉県さいたま市桜区下大久保 255)

③ 試験時間割

4頁の「2 現職教員等特別選抜」の試験時間割に準じます。

(5) 選抜方法

入学者の選抜は、口述試験、研究計画書、及び埼玉大学教育学部長が作成した成績証明書及び指導教員等が作成した推薦書を基に総合的に判断します。詳細は13頁以降の「5 受験科目等」を確認してください。

(6) 配点

学部内推薦特別選抜	口述試験	合 計
	200	200

(7) 合格発表

【第1期】	令和3年 9月24日(金) 14:00
【第2期】	令和3年12月14日(火) 14:00

(8) 入学手続

【第1期】	令和3年11月16日(火)
【第2期】	令和4年 2月22日(火)

Ⅲ 学生募集内容等

1 募集人員

課 程	専 攻	プログラム	サブプログラム
専 門 職 学 位 課 程 （ 52 名 ） 一 般 選 抜 第 1 期 52 名 第 2 期 若干名	教 職 実 践 専 攻	総 合 教 育 高 度 化 プログラム	学 校 構 想 サブプログラム
			特 別 支 援 教 育 サブプログラム
			学 校 保 健 サブプログラム
			子 ど も 共 育 サブプログラム
		教 科 教 育 高 度 化 プログラム	言 語 文 化 系 教 育 サブプログラム
			社 会 系 教 育 サブプログラム
			自 然 科 学 系 教 育 サブプログラム
			芸 術 系 教 育 サブプログラム
			身 体 文 化 系 教 育 サブプログラム
			生 活 創 造 系 教 育 サブプログラム

※現職教員等特別選抜、指定校推薦特別選抜及び学部内推薦特別選抜の募集人員は、一般選抜の募集人員に含まれます。

2 出願資格

（１）各選抜区分共通の出願資格

教育職員免許法による幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭若しくは養護教諭の免許状を有する者及び取得予定の者で、次の各号のいずれかに該当する者を対象とします。

- ① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条第 1 項に定める大学を卒業した者及び令和 4 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和 4 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 4 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 4 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び令和 4 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 本学大学院において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 4 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

（注）上記の出願資格⑦により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を受けなければならないので、12 頁の「4 出願資格（１）の⑦により出願する者の資格審査について」により申請書類を提出してください。

（２）現職教員等特別選抜

初等中等教育において累計 5 年以上（令和 4 年 4 月 1 日の時点）の教職経験（臨時的任用・非常勤を含む）を有し、在職のまま教育学研究科に入学可能な者を対象とします。

- ① 学校教育法第 1 条に規定する学校の教員
- ② 教育公務員特例法第 2 条に規定する教育公務員

（注）臨時的任用・非常勤の職にある者は、1 週間あたりの勤務時間が 12 時間以上であることが必要です。

3 出願書類及び入学検定料

※出願書類は全て A4 サイズ(297mm×210mm)で印刷してください。

《出願書類送付先》〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学教育学部係

※郵送方法は、2 項以降の「入学願書等出願期間」欄等を確認してください。

書類等の名称	提出該当者	摘 要
入学願書（両面印刷） 受験票 写真票	全員	入学願書は、両面印刷し、裏面の履歴欄も記入してください。 写真は、出願前 3 ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身（4 cm×3 cm）のものを指定欄に貼付してください。「入学願書」と「受験票」及び「写真票」の記載事項が相違ないように記入してください。
研究計画書	全員	記載は手書き、データ入力どちらでも差し支えありません。裏面を使用することはできません。
教育職員免許状授与証明書又は 取得見込証明書	全員	都道府県教育委員会が作成した教育職員免許状授与証明書又は出身大学等の学長又は学部長が作成した取得見込証明書を提出してください。 ※教員免許状ではありませんのでご注意ください。
卒業（見込）証明書	全員	出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。 外国語により作成されているものは、日本語の訳文を添付してください。
成績証明書	全員	出身大学等の学長又は学部長が作成し厳封したもの。 外国語により作成されているものは、日本語の訳文を添付してください。
受験票等送付用封筒 （定形12cm×23.5cm）	全員	郵便番号、住所、氏名を明記し、384円分の切手を貼付してください。 10/1以降は、速達料金の引き下げにより、354円分の切手となります。
入学検定料（30,000円） 収納証明書貼付用紙	全員	入学検定料は、コンビニエンスストアで、お支払い願います。別紙「コンビニ収納」をご覧ください。「取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、本研究所定の「収納証明書貼付用紙」に貼り付けてください。 ※検定料の支払いは、出願期間前でも可能です。出願期間に間に合うように手続きしてください。 ※検定料の免除を申請する者は、16頁「Ⅳ 検定料の免除」を参照してください。
学位授与証明書 又は 学位授与申請予定証明書	出願資格が ②の者のみ	大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書又は学位の授与を申請する予定である旨を、出身短期大学学長又は高等専門学校学長等が証明したものを提出してください。
音楽実技試験に関する調書	芸術系（音楽） に出願する者	本研究所定の用紙
受験・就学承諾書	現職教員等 特別選抜 出願者のみ	本研究所定の用紙
教育実践・研究業績書	現職教員等 特別選抜 出願者のみ	本研究所定の用紙 報告、論文、作品等を必ず 2 点添付してください。
在職証明書	現職教員等 特別選抜 出願者のみ	本研究所定の用紙
推薦書	指定校推薦 及び 学部内推薦 出願者のみ	本研究所定の用紙 指定校推薦特別選抜に出願する者は、出身大学等の学長又は学部長が作成し厳封したものを提出してください。 学部内推薦特別選抜に出願する者は、指導教員が作成したものを提出してください。
住民票	外国人留学生のみ	在留資格及び在留期間の明記されたもの。 なお、外国から出願する外国籍の者はパスポート（旅券）の写しを提出してください。
履歴書	外国人留学生のみ	本研究所定の用紙
戸籍抄本	該当者のみ	改姓し、各証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等を提出してください。
短期履修制度申請書	短期履修制度のみ	本研究所定の用紙
教育実践・研究業績書	短期履修制度のみ	本研究所定の用紙
業務の状況に対する申立書	短期履修制度のみ	本研究所定の用紙

- 《備考》 1. 令和3年3月までに本学教育学部を卒業した者は、成績証明書及び卒業証明書を提出する必要はありません。
- また、令和4年3月に本学教育学部を卒業見込みの者は、成績証明書及び卒業見込証明書を提出してください（厳封不要）。
2. 上記のうち、個別出願資格審査等で事前に提出した書類は、出願の際に再度提出する必要はありません。
3. 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
4. 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
5. 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本研究科に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページ (<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 《返還請求書類送付先》
- 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当
- ※返還は、返還請求書到着後2ヵ月程度かかる場合があります。

4 出願資格（１）の⑦により出願する者の資格審査について

9 頁の「2 出願資格（１）各選抜区分共通の出願資格」において、⑦の資格で出願を予定している者は、出願に先立って個別出願資格審査を受ける必要があります。個別出願資格審査で資格が認定された者のみ受験が許可されます。なお、①～⑥の出願資格で出願を予定している者は、個別出願資格審査を受ける必要はありません。

（１）個別出願資格審査受付期間

【第１期】	令和３年 ６月２８日（月）～ ７月 ２日（金）
【第２期】	令和３年 ９月１７日（金）～ ９月２４日（金）

本学大学院教育学研究科への資格審査を申請する者は、下記の書類を一括して受付期間内（必着）に埼玉大学教育学部係宛に必ず簡易書留郵便で郵送してください。

なお、出願は郵送のみとし、窓口での提出は一切受け付けません。

書類等の名称	提出該当者	摘 要
入学試験出願資格 個別審査申請書	全員	本研究科所定の用紙
卒業（見込）証明書及び 成績証明書	全員	高等学校卒業後の学歴に関するもの全てを提出してください（出身大学等の学長又は学部長が作成したもの）。 外国語により作成されているものは、日本語の訳文を必ず添付してください。
在職証明書	該当者のみ	本研究科所定の用紙 現職教員のみ提出してください。
入学希望理由書	全員	本研究科所定の用紙 400字以内で記載し、提出してください。
教育研究歴・活動歴・ 学習歴申告書	（注）（２） 該当者のみ	本研究科所定の用紙
戸籍抄本	該当者のみ	改姓し、各証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等を提出してください。
返信用封筒	全員	郵便番号・住所・氏名を明記し、384円分の切手を貼付した長3形封筒 10/1以降は、速達料金の引き下げにより、354円分の切手となります。

（注）出願資格⑦に該当する者とは、具体的に下記（１）及び（２）を指します。

（１）短期大学、高等専門学校や一定の基準を満たした専門学校の卒業者など大学編入学資格を有する者、或いは、大学編入学資格を有しない専修学校・各種学校の卒業者やその他の国内外の教育施設の修了者等であること。

（２）大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは国立共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする）研究に従事しており、22歳に達したものについて、本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であること。

5 受験科目等

(1) 受験科目一覧

2 頁以降に記載された各選抜区分における試験時間割を参照してください。

プログラム名	サブプログラム名	教科等	筆記試験等 (注 1 ～ 2 参照)	口述試験	備考
総合教育高度化プログラム	学校構想 サブプログラム	—	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記から選択） ・心理学 ・教育実践学 ◎は全員受験の科目です。 また、専門科目のうち受験時に 1 科目を選択し受験します。	口述試験の内容については 15 頁(注)3 を参照してください。	—
	特別支援教育 サブプログラム	—	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記必答） ・特別支援教育に関する科目 ◎は全員受験の科目です。		専門科目「特別支援教育に関する科目」の内容は下記を含みます。[特別支援教育学、障害児心理・生理・病理学、障害児指導法（※英語含む。辞書持込可）] ※持込可能な辞書は、英和辞書 1 冊（紙媒体のもの。和英辞書と合冊になっているものは不可）に限ります。
	学校保健 サブプログラム	—	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記必答） ・学校保健に関する科目 ◎は全員受験の科目です。		—
	子ども共育 サブプログラム	教育学	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記から選択） ・教育実践の歴史 ・教育政策と法 ・教育の方法 ・教育と社会 ・学校教育と社会教育 ・ジェンダーと教育 ◎は全員受験の科目です。 また、専門科目のうち受験時に 2 科目を選択し受験します。		—
		幼児教育	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記必答） ・幼児教育 ◎は全員受験の科目です。		—
教科教育高度化プログラム	言語文化系教育 サブプログラム	国語	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記から選択） ・国語科教育 ・国文学 ・漢文学 ◎は全員受験の科目です。 また、専門科目のうち出願時に願い出た 1 科目を受験します。		—

プログラム名	サブプログラム名	教科等	筆記試験等 (注１～２参照)	口述試験	備考
教科教育高度化プログラム	言語文化系教育サブプログラム	英語	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記必答） ・英語教育 ◎は全員受験の科目です。	口述試験の内容については15頁(注)3を参照してください。	専門科目「英語教育」の内容は下記を含みます。 (英語科教育、英語学、英語文学) 辞書持込不可です。 筆記試験等、口述試験では英語による解答を含みます。
	社会系教育サブプログラム	—	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記から選択） ・社会科教育 ・地理学 ・歴史学 ・法学 ・社会学 ・倫理学 ◎は全員受験の科目です。 また、専門科目のうち出願時に願い出た1科目を受験します。		—
	自然科学系教育サブプログラム	算数・数学	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記から選択） ・算数・数学教育 ・数学 ◎は全員受験の科目です。 また、専門科目のうち受験時に1科目を選択し受験します。		—
		理科	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記必答） ・理科教育 ・理科 ◎は全員受験の科目です。		—
	芸術系教育サブプログラム	音楽	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記から選択） ・音楽科教育 ・器楽（実技） ・声楽（実技） ◎は全員受験の科目です。 また、専門科目のうち出願時に願い出た1科目を受験します。		15頁「(2) 芸術系教育サブプログラム（教科：音楽）における実技試験について」を参照してください。
		図画工作・美術	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記必答） ・美術教育 ◎ 専門科目（下記から選択） ・美術科教育 ・絵画（実技） ・彫刻（実技） ・デザイン（実技） ◎は全員受験の科目です。 また、専門科目（必答）の美術教育に加えて、専門科目（選択）のうち出願時に願い出た1科目を受験します。		15頁「(3) 芸術系教育サブプログラム（教科：図画工作・美術）における実技試験について」を参照してください。

プログラム名	サブプログラム名	教科等	筆記試験等 (注1～2参照)	口述試験	備考
教科教育高度化プログラム	身体文化系教育サブプログラム	—	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記から選択） ・体育学 ・運動学 ◎は全員受験の科目です。 また、専門科目のうち受験時に1科目を選択し受験します。	口述試験の内容については15頁(注)3を参照してください。	—
	生活創造系教育サブプログラム	技術	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記必答） ・技術教育 ◎は全員受験の科目です。		—
		家庭	◎ 教職に関する科目 ◎ 専門科目（下記必答） ・家庭科教育 ◎は全員受験の科目です。		専門科目「家庭科教育」の内容は下記を含みます。 (家庭科教育学、家庭経営学、児童学、食物学、住居学、被服学)

- (注) 1. 筆記試験のうち、「教職に関する科目」は「現代の学校と教職をめぐる諸課題についての問題関心や理解」、あるいは「教職に関する意識や教育実践・教育上の課題に対する考え方」を問います。
 2. 筆記試験のうち、「専門科目」は「サブプログラムに関する専門領域、教科教育学や教科内容に関する領域の知識や理解度、技能」を問います。
 3. 口述試験は、①「現代の学校と教職をめぐる諸課題についての問題関心や理解」、あるいは「教職に関する意識や教育実践・教育上の問題の課題に対する考え方」、②「サブプログラムに関する専門領域、教科教育学や教科内容に関する領域の知識や理解度、技能」を問います。
 4. 実技試験は、芸術系教育サブプログラム（音楽及び図画工作・美術）の一部の科目で課します。
 5. 課された試験科目のすべてを受験しなかった場合は、失格となります。

- (2) 芸術系教育サブプログラム（教科：音楽）における実技試験について
 芸術系教育サブプログラム（教科：音楽）における実技は、次の①、②の2専門科目から自選した1科目の課題について行います。

演奏する曲の楽譜を出願書類と同時に提出してください（提出した楽譜は返却されません）。

- ①器 楽 ピアノ、フルートより1つの楽器を選び、8分以上10分程度までで自由にプログラムを作り演奏してください。繰り返しは省くこと。曲数は問いません。ピアノで受験する者は、暗譜で演奏してください。フルートで受験する者は、暗譜で演奏する必要はありません。また、フルートで受験する者で伴奏を必要とする場合、受験生各自が用意してください。
- ②声 楽 8分以上10分程度までで自由にプログラムを作り、暗譜で演奏してください。曲数は問いません。また、オペラのアリアは原調とします。伴奏を必要とする場合、受験生各自が用意してください。

- (3) 芸術系教育サブプログラム（教科：図画工作・美術）における実技試験について

実技（「絵画」「彫刻」「デザイン」）の試験は「素描」（同一の問題）となります。

また、実技を選択した志願者は、本人が1年以内に制作した作品1点（試験場に持参できる大きさに限る）と、これまでの作品をまとめたA4判のファイル1冊を持参してください。但し、作品及びファイルには、制作者が志願者本人であることを示すための指導教員による証明書（様式は問わない）を添付してください。

Ⅳ 検定料の免除

学資負担者が、令和3年4月1日から出願時まで災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。

検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページ上（http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/）から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書（写しでも可）を添付して、出願書類と同時に提出してください（この場合は、検定料を払わないこと）。

なお、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。

V 大学院特例制度

1 教育方法の特例措置

本研究科では、現職教員等に対して、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用し、現職教員等が専門的教育を受ける機会を拡大するための措置を講じています。

修了年限2年のうち1年のみ現職を離れることができる場合は、第1年次は現職を離れて通常の時間帯の通学履修をし、課程修了に必要な46単位のうち38単位をめどに修得します。第2年次においては、現職に復帰し勤務しながら、定期的または集中的に授業・研究指導を受け、課程修了に必要な残りの単位を修得します。

2 短期履修制度

教育現場で正規職員としての教職経験が5年以上ある経験を積んだ現職教員を対象として、1年で修了できるカリキュラムです。通常の2年で修了する院生と同じプログラムに所属します。修了必要単位46単位のうち、「実地研究Ⅱ」が教育現場での経験により履修免除となります（本研究科での審査が必要です）。

次の書類を入学手続期間内に提出すること。

1. 短期履修制度申請書
2. 教育実践・研究業績書
3. 業務の状況に対する申立書

3 長期履修制度

教育学研究科では、職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、大学院の課程を修了することができる「長期履修学生制度」を導入しています。長期履修学生は、期間にかかわらず、原則として標準の修業年限分の授業料を納めることとなります。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改訂年度から新授業料が適用されます。申請は合格発表後ですが、申請資格等と併せて、詳細は教育学部係へ確認してください。

（1）申請資格

次のいずれかに該当し、標準修業年限内での修業が困難な者。

1. 職業を有し、修業している者（自営業及び臨時雇用（単発的なものを除く）を含む）
2. 家事、育児、介護等の事情を有する者
3. その他学長が相当と認めた者

（2）提出書類

次の書類を入学手続期間内に提出すること。

1. 長期履修学生志願書
2. 理由書
3. 在職証明書または在職が確認できる書類（職業を有する者に限る）
4. その他学長が必要と認める書類等

VI 取得できる免許状

小学校、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校教諭及び養護教諭 1 種免許状を有し又は所要資格を得ている者で、当該免許状の種類及び教科に係る小学校、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校教諭及び養護教諭専修免許状の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。

(国立大学法人埼玉大学大学院教育学研究科規程 第 13 条抜粋)

教育学研究科において、教員免許状の所要資格を取得できる種類は下記表のとおりとなります。また、出願資格（9 頁）では現在有する免許状の種類（1 種・2 種）を指定していませんが、2 種免許のみを有する方は現在の単位取得状況によっては在籍期間内に専修免許状を取得できないことがあります。

プログラム名	サブプログラム名	種類	教科
総合教育高度化プログラム	学校構想サブプログラム	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、福祉、英語
		幼稚園教諭専修免許状	
	特別支援教育サブプログラム	特別支援学校教諭専修免許状	知的障害者 肢体不自由者 病弱者
	学校保健サブプログラム	養護教諭専修免許状	
	子ども共育サブプログラム	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、福祉、英語
		幼稚園教諭専修免許状	
教科教育高度化プログラム	言語文化系教育サブプログラム	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、英語
	社会系教育サブプログラム	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史、公民
	自然科学系教育サブプログラム	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	数学、理科
		高等学校教諭専修免許状	数学、理科
	芸術系教育サブプログラム	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	音楽、美術
		高等学校教諭専修免許状	音楽、美術
	身体文化系教育サブプログラム	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	保健体育
		高等学校教諭専修免許状	保健体育
	生活創造系教育サブプログラム	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	技術、家庭
		高等学校教諭専修免許状	家庭

Ⅶ 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本研究科に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

事前相談担当：教育学部係 電話 048-829-7119（平日 9:00～17:00）

1 申請方法

申請する場合は、次の①、②を【〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学教育学部係】あてに提出してください。

郵送の場合は、「受験上及び修学上の配慮申請書類在中」と封筒に朱書してください。

提出された書類に基づき、本研究科関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身大学関係者へ照会する場合があります。

①	令和4年度埼玉大学入学者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書（本学所定の用紙）
	申請用紙は、教育学部係の窓口で直接受け取るか、埼玉大学ホームページからダウンロードして入手してください。 (http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf)
②	医師の診断書（障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）
	発行後6ヶ月以内の原本

2 申請書提出時期

出願時期に応じて以下の期間内に申請してください。

【第1期】令和3年6月21日(月)～6月25日(金)

【第2期】令和3年9月13日(月)～9月17日(金)

障がいの程度が重度な場合には対応の検討に時間を要することもあります。その場合にはできるだけ早めに申請してください。

なお、上記の締切日を過ぎた時点で申請した場合は、出願受付期間前に回答することができないことがあります。その場合には、要望事項等への回答が来る前であっても出願受付期間内に回答する必要があるため、出願後に希望した措置の可否が通知されることになります（出願受付期間を延長することはできません）。

3 申請受付後の回答日

出願受付期間開始日の前日（予定）

提出された書類を元に、ご希望の措置が実施できるか本研究科関係者が検討を行い、支障がないことを確認した時点で、上記①の配慮申請書に記載されている住所あてに、回答文書を郵送します。そのため、上記の回答日はあくまで予定日となります。

4 出願時の手続

- (1) この申請で受験許可を得た者は、出願書類を郵送後、その旨を上記の事前相談担当に電話連絡してください。
- (2) この申請で受験許可を得た者が、出願を辞退、若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記の事前相談担当に電話連絡するとともに、はがき又は手紙で通知してください。

Ⅷ 合格者の発表及び入学手続

1 合格者の発表

3 頁以降に記載された、各選抜区分における合格発表の日程どおり、埼玉大学教育学部 A 棟東側入口前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には教育学部係窓口にて受験票と照合の上、合格通知書を交付します。当日受領しなかった者には翌日以降郵送します。また、不合格者には通知書等の発送は行いません。なお、電話による可否結果の問い合わせには一切応じません。

2 入学手続

(1) 入学手続日

2 頁以降に記載された、各選抜区分における入学手続のとおりです。

(2) 提出書類

ア 受験票

イ その他、本学の指定する書類等（合格者に送付します。）

(3) 納付金

ア 入学金 282,000 円（予定額）

イ 授業料 267,900 円〔前期分（予定額）〕

535,800 円〔年 額（予定額）〕

- (注) 1. 本学が指定した提出書類等を指定の期間内に郵送又は持参し、入学手続を行ってください。詳細については合格者にお知らせします。
2. 入学料及び授業料は、改定される場合があります。在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
3. 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
4. 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和 4 年 4 月中に納付することとなります。
5. 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料など、若干の諸経費が必要となります。
6. 経済的理由等で入学料・授業料の納付が著しく困難であると認められる者については、選考のうえ、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。
7. 令和 4 年 3 月 31 日（木）17:00 までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害損害保険料などの返還に応じますが、納付した入学料については、いかなる理由があっても返還しません。
8. 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。
9. 出願時に卒業見込、教育職員免許状取得見込だった者は、卒業証明書（本紙）、教員免許状（写し）を提出してください。

Ⅸ 入試情報の開示

埼玉大学教育学研究科では、令和4年度入試情報について次のとおり開示し、提供します。

- (1) 開示対象者
教育学研究科を受験し不合格となった者を対象とします。
- (2) 請求に基づき開示する情報
入試成績の合計点
- (3) 開示請求方法
請求者 受験者本人に限ります。
請求方法 本研究科指定の様式「埼玉大学大学院教育学研究科入試情報開示申請書」、返信用封筒（本人の住所、氏名を明記し、404円分の切手（定形郵便物84円＋簡易書留郵320円）を貼った長形3号封筒）及び受験票を教育学部係宛に郵送、もしくは窓口に直接提出してください。なお郵送で請求する場合は、請求期間内必着とします

請求期間 【第1期】
令和3年9月30日（木）～10月6日（水）
【第2期】
令和3年12月20日（月）～12月24日（金）

請求先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学教育学部係
※封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書してください。

開示方法 郵送により成績通知書を交付します。交付には請求期間終了後、数日を要します。

Ⅹ 個人情報の保護について

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた出願書類および試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (3) 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

Ⅺ その他

- (1) 出願に関する不明な点は、埼玉大学教育学部（電話048-829-7119）に照会してください。
- (2) 提出後の出願書類に対しては、いかなる理由があっても、その記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、教育学部係まで連絡してください。また、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (3) 受験票は入学手続時に必要となるので、紛失しないように大切に保管してください。

令和4年度
埼玉大学大学院教育学研究科入学願書

両面印刷
[全員提出]

受験番号	※
------	---

志望 プログラム名等	プログラム	サブプログラム（教科等：）
出願選抜区分 （該当に☑）	☐ 一般選抜 ☐ 現職教員等特別選抜 ☐ 指定校推薦特別選抜 ☐ 学部内推薦特別選抜	
選択する専門科目 （筆記・実技）	* 全員受験する科目は記入不要 * 現職教員等特別選抜出願者は記入不要	
申請する予定の制度 （希望する場合該当に☑）	☐ 短期履修制度（1年） * 試験の可否には影響しません ☐ 長期履修制度（3年、4年）	

フリガナ			写真貼付欄 ・写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身（4cm×3cm）とすること。 ・写真の裏に氏名を記入して貼付すること。
氏名 （パスポート表記と同じ）	（氏）	（名）	
英字名 （パスポート表記と同じ）	（氏）	（名）	
生年月日・性別 （該当に☑）	☐ 昭和 ☐ 平成 年 月 日	☐ 男 ☐ 女	
現住所	（〒 — ） E-mail（ ） TEL.（ — ）		

出願資格	基礎資格 （出身大学等） * 9頁で自身の出願資格を確認し、該当する①～⑦の欄に記入すること。	出願資格 ①③ ④⑤	☐ 国立 ☐ 公立 大学 学部 ☐ 学科 ☐ 課程 ☐ 私立 年 月 ☐ 卒業 ☐ 卒業見込 ☐ 外国の大学 出身大学所在県（国）： 県（国）
		出願資格 ②	* 大学卒業（見込）者は記入しないこと 学位授与年月日： ☐ 昭和 ☐ 平成 年 月 日
		出願資格 ⑥	最終学歴： ☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和 年 月 日
		出願資格 ⑦	* 入学資格を認定された同年度のみ出願可能 本学入学資格認定年月日： 令和 年 月 日
	取得 教員免許状 （見込含む）	教諭 種免許状《教科 》 教諭 種免許状《教科 》 教諭 種免許状《教科 》 教諭 種免許状《教科 》	
現在（出願時） の身分等 * 令和4年3月卒業見込の者は記入不要	☐ 教員 ☐ 教育職員 ☐ 研究職員 ☐ 会社員 ☐ 無職 ☐ その他（ ）		
	勤務先名： TEL.（ — ）		
	* 現職教員等特別選抜出願者のみ記入 1. 国・地方公共団体からの派遣による現職教員派遣（派遣教育委員会名： 教育委員会） 2. 大学院修業休業制度により昼間開講を受講（許可教育委員会名： 教育委員会）		
	* 現職教員等特別選抜出願者のみ記入 経験年月数： 年 月（令和4年3月末現在）		

- 《記入上の注意》
- ※印欄は記入しないこと。
 - 記入はペン又はボールペンを用い、楷書で記入すること。
 - 受験票、写真票の記載事項と相違ないように記入すること。
 - 裏面の履歴欄も記入すること。

履 歴

学 歴	出 身 校	在 学 期 間
	高等学校 卒業	年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
職 歴	勤 務 先 ・ 職 種 （ 常 勤 ・ 非 常 勤 の 別 ）	在 職 期 間
	()	年 月～ 年 月
	()	年 月～ 年 月
	()	年 月～ 年 月
	()	年 月～ 年 月
	()	年 月～ 年 月
	()	年 月～ 年 月

- 《記入上の注意》 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 記入はペン又はボールペンを用い、楷書で記入すること。
3. 履歴は、できるだけ詳細に記入し、空白期間のないように記入すること。
 学歴は高等学校卒業から記入し、研究生、科目等履修生(聴講生)等の
 在学歴がある場合は、その期間も記入すること。
4. 両面印刷してください。

令和4年度
埼玉大学大学院教育学研究科
受験票

[全員提出]

受験番号

※

志望 プログラム名等	プログラムサブプログラム（教科等：）	
出願選抜区分 （該当に☑）	☐ 一般選抜 ☐ 指定校推薦特別選抜	☐ 現職教員等特別選抜 ☐ 学部内推薦特別選抜
選択する 専門科目	* 全員受験する科目は記入不要 * 現職教員等特別選抜出願者は記入不要	
フリガナ		
氏 名	（氏）	（名）
生年月日・性別 （該当に☑）	☐ 昭和 ☐ 平成 年 月 日	☐ 男 ☐ 女

写真貼付欄
・写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身（4cm×3cm）とすること。
・写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

※この受験票は入学手続の際に使用するため、その時まで各自保管しておくこと。

-----切-----り-----離-----さ-----な-----い-----こ-----と-----

令和4年度
埼玉大学大学院教育学研究科
写真票

受験番号

※

志望 プログラム名等	プログラムサブプログラム（教科等：）	
出願選抜区分 （該当に☑）	☐ 一般選抜 ☐ 指定校推薦特別選抜	☐ 現職教員等特別選抜 ☐ 学部内推薦特別選抜
選択する 専門科目	* 全員受験する科目は記入不要 * 現職教員等特別選抜出願者は記入不要	
フリガナ		
氏 名	（氏）	（名）
生年月日・性別 （該当に☑）	☐ 昭和 ☐ 平成 年 月 日	☐ 男 ☐ 女

写真貼付欄
・写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身（4cm×3cm）とすること。
・写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

-----切-----り-----離-----さ-----な-----い-----こ-----と-----

- 《記入上の注意》
1. ※印欄は記入しないこと。
2. 記入はペン又はボールペンを用い、楷書で記入すること。

[全員提出]

研究計画書

フリガナ		志望 プログラム名等	((教科等()プログラム)サブプログラム)
氏 名			
研究テーマ			
研 究 計 画 概 要			
		受験番号	*

(注) 1. ※欄には記入しないでください。
2. 本用紙への記載は手書き、データ入力どちらでも差し支えありません。

収納証明書貼付用紙



コンビニ

収納証明書貼付欄

コンビニで受け取った取扱明細書
から「収納証明書」部分を切り取
り、点線の中にはがれないよう
にしっかりと貼り付けること。



※「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないこと。

大学使用欄

出納担当確認欄	学部受付欄

音 楽 実 技 試 験 に 関 す る 調 書

この調書提出後の曲名等の変更は、一切認めない。

(注) 1. ※欄には記入しないでください。

2. 本用紙への記載は手書き、データ入力どちらでも差し支えありません。

[現職教員等特別選抜に出願する者]

令和 年 月 日

埼玉大学大学院教育学研究科長 殿

所在地

所属長

職印

受 験 ・ 就 学 承 諾 書

職 名 :

氏 名 :

上記の者が、埼玉大学大学院教育学研究科を受験することを承諾いたします。

なお、入学試験に合格した場合は、現職教員等のまま就学することを承諾いたします。

教育實踐・研究業績書

[illegible]

(注意) 報告・論文・作品等を必ず2点添付すること。

受験番号	※
------	---

(注) 1. ※欄には記入しないでください。

2. 本用紙への記載は手書き、データ入力どちらでも差し支えありません。

〔学部内推薦特別選拔出願のための
事前審査を申請する者〕

令和 年 月 日

埼玉大学大学院教育学研究科長 殿

指導教員等氏名

㊟

推 薦 承 諾 書

学 生 氏 名 :

学生志望プログラム名 :

学生志望サブプログラム名:

上記の者が、埼玉大学大学院教育学研究科の学部内推薦特別選抜に出願することを承諾します。

[指定校推薦特別選抜に出願する者]

受験番号

※

令和 年 月 日

推 薦 書

大 学 名

所属長名

(学長・学部長)

職印

志望するプログラム名等

専門職学位課程

プログラム

サブプログラム 教科等：

教職に就く意欲のある者として、本学生を下記のとおり責任をもって推薦いたします。

フリガナ		性別	生年月日
推薦学生氏名		☐ 男 ☐ 女	年 月 日

推 薦 す る 理 由

(注) 1. ※欄には記入しないでください。

2. 本用紙への記載は手書き、データ入力どちらでも差し支えありませんが、紙にプリントアウトして押印したものを提出してください。

[学部内推薦特別選抜に出願する者]

受験番号	※
------	---

令和 年 月 日

推 薦 書

大 学 名

学 部 名

指導教員等氏名 ⑤

志望するプログラム名等

専門職学位課程	プログラム
サブプログラム	教科等：

教職に就く意欲のある者として、本学生を下記のとおり責任をもって推薦いたします。

フリガナ		性別	生年月日
推薦学生氏名		☐ 男 ☐ 女	年 月 日

推 薦 す る 理 由

--

(注) 1. ※欄には記入しないでください。

2. 本用紙への記載は手書き、データ入力どちらでも差し支えありませんが、紙にプリントアウトして押印したものを提出してください。

履 歴 書
Curriculum Vitae

氏 名	自国語				男(M) ・ 女(F) Sex	生 年 月 日 Date of birth	19 年 月 日	年 齢 Age		国 籍 Nationality		在 留 資 格 Resident Status	
	フリガナ ローマ字	Family Name First Name Middle Name											
		Family Name First Name Middle Name											
		学 校 名 ・ 所 在 地 Name and Address of School			正規の修学年数 Officially required number of years of schooling	入学及び卒業年月 Year and Month of Entrance and Completion	修業年数 Period of schooling	専 攻 科 目 Major subject if any		学 位 ・ 資 格 Diploma or Degree awarded			
初 等 教 育 Elementary Education		学 校 名 Name			年 yrs	入学 from	年 yrs						
小 学 校 Elementary School		所 在 地 Location											
中 等 教 育 Secondary Education		中 学 Lower	学 校 名 Name			年 yrs	入学 from	年 yrs					
			所 在 地 Location										
中学校及び高校 Secondary School		高校 Upper	学 校 名 Name			年 yrs	入学 from	年 yrs					
			所 在 地 Location										
高 等 教 育 Higher Education		大 学 Undergraduate Level	学 校 名 Name			年 yrs	入学 from	年 yrs					
			所 在 地 Location										
大 学 院 Graduate Level			学 校 名 Name			年 yrs	入学 from	年 yrs					
			所 在 地 Location										
以上を通算した全学校教育修学年数 Total						年 yrs	TOTAL						

研 究 歴 Research Activities	研 究 機 関 名 Name of Research Insitution		所 在 地 Address		研 究 期 間 Duration of resarch	年 数 yrs
					~	
職 歴 Employment Record	勤 務 先 名 Name of Organization		所 在 地 Address		勤 務 期 間 Period of employment	年 数 yrs
					~	
日本語の学習歴 Japanese Language Education	教 育 機 関 名 Name of Educational Insitution		所 在 地 Address		履 修 期 間 Period of study	年 数 yrs
					~	

※記入は、日本語又はローマ字体を用いること。

〔外国人留学生のみ提出〕

[個別の出願資格審査を申請する者]

令和 年 月 日

埼玉大学大学院教育学研究科長 殿

入 学 試 験 出 願 資 格 個 別 審 査 申 請 書

私は、出願資格の個別審査を受けたいので、申請いたします。

志望 プログラム名等	()プログラム ()サブプログラム (教科等:)
フリガナ	
氏 名	印
フリガナ	
現 住 所	〒 — TEL: ()
フリガナ	
連 絡 先	〒 — TEL: ()
提出書類	1. 卒業(見込)証明書 2. 成績証明書 3. 在職証明書(該当者のみ) 4. 入学希望理由書 5. 教育研究歴・活動歴・学習歴申告書(該当者のみ) 6. 戸籍抄本(該当者のみ) 7. 返信用封筒 ※提出する書類の番号に○をつけること。

〔現職教員等特別選抜に出願する者及び
個別の出願資格審査を申請する現職教員〕

令和 年 月 日

在 職 証 明 書

氏 名: (印)

生年月日： 昭和・平成 年 月 日生

勤務先名		職名	
職務内容 *可能な限り 詳細に記入 してください。			
勤務形態	常勤 非常勤(週 時間)	在職期間	年 月 日～現在 年 月 日～ 年 月 日退職
休職又は 任期付き 期間	年 月 日～ 年 月 日 ☐ 該当なし(該当がない場合は左記に ☒)		
上記のとおり相違ないことを証明します。			
令和 年 月 日			
住 所			
所属機関			
所属長氏名			
職印			

- （注）１．太枠内を所属長に、その他の欄は志願者本人が記載してください。
- ２．所属機関が複数にわたる場合は、本紙を必要枚数コピーし、所属機関ごとに作成してください。

[個別の出願資格審査を申請する者]

令和 年 月 日

入学希望理由書

氏 名



私は、埼玉大学教育学研究科 教職実践専攻

_____プログラム_____サブプログラム
 教科等 _____に、下記の理由により入学を希望します。

[illegible]

[個別の出願資格審査を申請する者]

令和 年 月 日

埼玉大学大学院教育学研究科長 殿

教育研究歴・活動歴・学習歴申告書

教育研究歴・活動歴・学習歴について、下記のとおり申告いたします。

氏 名: _____ (印)

生年月日： 昭和・平成 年 月 日生

〔卒業（修了）後の経歴を年代順に記入するとともに、その内容についても詳しく記入してください。〕

[illegible]

[希望者のみ指定期間内に申請]

令和 年 月 日

埼玉大学大学院教育学研究科長 殿

〒 ー

住所

氏名

電話番号

埼玉大学大学院教育学研究科
入 試 情 報 開 示 申 請 書

下記のとおり、入学試験の成績について情報開示を申請します。

記

入学試験年度	令和4年度入学試験	受験番号	
志望 プログラム名等	()プログラム ()サブプログラム (教科等:)		
情報開示を申請する内容	入試成績の合計点		

以上

- 【注】1. 入試情報開示申請書、受験票及び返信用封筒(長形3号封筒に404円分の切手を貼付し、簡易書留と朱書すること。)郵送または持参してください。
2. 受験票を紛失した場合は、本人を確認できる身分証明書等(運転免許の写、パスポートの顔写真及び住所の記載された箇所の写等)を同封すること。

埼 玉 大 学 記 入 欄		
確認 方法	1. 受験票	受付番号
	2. 身分証明書()	
受理日	令和 年 月 日	

[短期履修制度を申請する者]

令和 年 月 日

埼玉大学大学院教育学研究科長 殿

短期履修制度申請書

埼玉大学大学院教育学研究科(専門職学位課程)に合格した場合、短期履修制度
での履修を希望します。

氏 名

[短期履修制度を申請する者]

教育実践・研究業績書

[illegible]

(注) 1. 報告・論文・作品等を必ず2点添付すること。

2. 本用紙への記載は手書き、データ入力どちらでも差し支えありません。

実務の状況に対する申立書

* 幼稚園教諭・養護教諭の場合は、項目内容を自身の専門の実務に読み替えて記載して下さい。

1. 教科・領域等の指導に関わる実務経験・研究業績

(1) 自己評価 (A,B,C,D の基準は、A は「十分当てはまる」、B は「当てはまる」、C は「やや不十分」、D は「不十分」とする)

・授業実践においては、週ごとの教育計画等に基づいて実践している。	A・B・C・D
・授業実践においては、時数や進度などの管理に努めている。	A・B・C・D
・授業等の計画を作成する際は学年スタッフや教科担当などと連携しながら進めている。	A・B・C・D
・学校園の教育目標や育てたい子ども像を念頭において教育計画を立てている。	A・B・C・D
・校内の教科等の年間指導計画や全体計画などの作成に関与している。	A・B・C・D
・学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校・教育委員会の教育課題を念頭に教育課題解決に向けた実施に努めている。	A・B・C・D
・授業実践にあたっては、幼児児童生徒の実態に応じた教材研究、教材開発などに努めている。	A・B・C・D
・授業実践にあたっては、幼児児童生徒の実態に応じて指導方法や指導技術の工夫や改善に努めている。	A・B・C・D
・道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間など教科以外の教育活動の指導にも力を尽くしている。	A・B・C・D
・教科や領域など教育活動の実践にあたっては PDCA サイクルを意識した指導と改善を意識して自己評価を適切に行っている。	A・B・C・D
・少人数、習熟度別、T T 等の様々な形態の授業実践の経験がある。	A・B・C・D

(2) 特記事項又は上記項目以外の具体的取り組み

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. 研修・研究授業等に関わる実務経験・研究業績

(1) 自己評価 (A,B,C,D の基準は、A は「十分当てはまる」、B は「当てはまる」、C は「やや

不十分」、D は「不十分」とする)

・地域や学校園の実態に応じた特色ある教育活動の創造に努めている。	A・B・C・D
・学校園内の研修や地区研究会で、研究授業や提案を進んで行っている。	A・B・C・D
・教科等に係る研修会（国、地方自治体、学会）等に参加している。	A・B・C・D
・幼児児童生徒理解や生活指導・進路指導に係る研修会（国、地方自治体、学会）等に参加している。	A・B・C・D
・様々な研修会等に参加するなど、絶えず自己研鑽に努めている。	A・B・C・D

(2) 特記事項又は上記項目以外の具体的な取り組み

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. 生徒指導・教育相談等に関わる実務経験・研究業績

(1) 自己評価 (A,B,C,D の基準は、A は「十分当てはまる」、B は「当てはまる」、C は「やや不十分」、D は「不十分」とする)

・日頃から幼児児童生徒の実態に応じて、子どもたちの理解に基づく対応を行っている。	A・B・C・D
・日頃から幼児児童生徒の進路指導(キャリア教育)の充実に努めている。	A・B・C・D
・幼児児童生徒の問題行動等に係る対応に積極的に取り組み、生徒指導の推進に努めている。	A・B・C・D
・クラブ活動、部活動、地域活動、ボランティアなどの指導に積極的に参加し、取り組みに努めている。	A・B・C・D
・分掌上で、生活指導や進路指導に係る職務に積極的に取り組み対応している。	A・B・C・D
・健全育成に係る地域の取組みや主催行事等に参加している。	A・B・C・D

(2) 特記事項又は上記項目以外の具体的な取り組み

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

4. 学級・学校経営に関わる実務経験・研究業績

(1) 自己評価 (A,B,C,D の基準は、A は「十分当てはまる」、B は「当てはまる」、C は「やや不十分」、D は「不十分」とする)

・朝の会、ホームルーム、給食指導、清掃指導などを工夫して行っている。	A・B・C・D
・家庭や保護者との連携について綿密に行っている。	A・B・C・D
・学級経営や学年経営、教科経営を組織的かつ計画的に進めている。	A・B・C・D
・学校園経営方針を視野に入れて教育活動や指導事務を行っている。	A・B・C・D
・学校園運営改善のための評価 (学校評価委員会、学校運営連絡協議会等) に関わっている。	A・B・C・D

(2) 特記事項又は上記項目以外の具体的取り組み

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

5. その他、特筆すべき実務経験・研究実績

(1) 自己評価 (A,B,C,D の基準は、A は「十分当てはまる」、B は「当てはまる」、C は「やや不十分」、D は「不十分」とする)

・教育者としてコンプライアンスを意識して教育活動や指導業務を進めている。	A・B・C・D
・組織の一員としての自覚をもって教育活動や教育事務にあたっている。	A・B・C・D
・教育者としての誇りや生き甲斐をもって教育にあたっている。	A・B・C・D
・子どもや保護者、地域の方に信頼されている。	A・B・C・D
・同僚や上司から信頼され、指導的役割を果たすことが期待されている。	A・B・C・D
・自他のストレスマネジメントに配慮して職務にあたっている。	A・B・C・D

(2) 特記事項又は上記項目以外の具体的取り組み

.....

.....

.....

.....

.....

.....

令和 年 月 日
氏 名

【注意事項】

1. この書類は短期履修制度による履修の可否の審査に使用するもので、教職大学院の可否には関係ありません。
2. (1) 自己評価の評価基準は、『A:十分当てはまる B:当てはまる C:やや不十分 D:不十分』です。全ての事項につき、A,B,C,D のいずれかを○で囲ってください。
3. (2) 特記事項については、1～6の項目に関する、過去5年以内の具体的な事実(実践報告など著作物がある場合はその典拠)を記載してください。特記事項のような実績がなくとも、特に努力して取り組んでいることがありましたら、そちらも記載して下さい。
4. 出願書類『教育実践・研究業績書』に記載した①題目名は、本書類の(2)特記事項にも記載してください。『教育実践・研究業績書』に記載した②発行年等③概要、及び報告書等の添付書類は、短期履修制度の審査にも使用します。
5. 特記事項の記載について、事実との相違が判明したとき、合格を取り消すことがあります。

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

1 お申込みの前に

お申込みの際に、振込依頼書に印字されている番号(8桁)の入力が必要です。振込依頼書をお持ちでない場合は、生年月日(西暦)を8桁の数字にして入力してください。

番号メモ
(8桁)

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON
Loppi

MINISTOP
Loppi

<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学

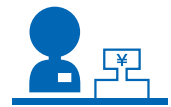
をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

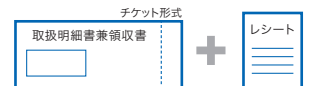
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税別)	入学検定料が5万円未満	400円
---------------	-------------	------

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



*申込み時に入力した**8桁の番号**が収納証明書に印字されていることを確認してください。

【入試・出願に関するお問い合わせ先】 募集要項に記載の連絡先へお問い合わせください。
【検定料の払込に関するお問い合わせ先】 埼玉大学 経理課出納担当 TEL 048-858-3942 (受付時間) 平日9:00~17:00
【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/e/guide/> ※コンビニ店頭ではお答えできません。